

北川地域ユネスコエコパーク拠点施設整備事業 ホタルの館改修(案)に関する意見及び本市の考え方

	分類	意見の概要	本市の考え方
	① 事業概要	<p>ホタルの館は、ユネスコエコパークの拠点施設として「人間と自然の共生」をテーマにしていると認識しております。北川地域の生物多様性の維持と同時に、持続可能な収益事業として確立させなければ、長期的には地域振興への影響力は減少してしまうでしょう。そして、持続可能な収益事業として確立させるためには、ホタルの館自体が、利用者にとって魅力的な施設である必要があります。そこで私は、老若男女幅広い層に興味を持ってもらい、「また訪れたい！」と思ってもらえるように、【食の充実】を提案致します。飲食可能な場所を充実させ、食の魅力を強化することで、観光客のみならず地域の人々にとっても、ホタルの館が憩いの場として機能するはずで。改修時に是非、充実した飲食場所設置の検討をお願い致します。</p>	<p>今回、「ホタルの館」改修の基本設計を策定するにあたりましては、北川地域ユネスコエコパーク拠点施設整備検討委員会(以下「検討委員会」という。)を開催し、委員の皆様より様々なご意見をいただいたところであります。</p> <p>この中で飲食の提供につきましては、ドリンクバーの常設も検討しましたが、平日の利用者が少ない場合には衛生面に問題があるとのことで、各自持ち込みや自販機設置が適当ではないかとの結論に至りました。</p> <p>そこで、今回はドリンクコーナーを設け、自由に館内での食事や休憩にご利用いただくことができます。</p> <p>また、販売コーナーも予定しておりますので、延岡の食を堪能していただくため、道の駅「北川はゆま」とコラボした弁当や特産品などの販売についても、今後、指定管理者と協議を行ってまいります。</p> <p>なお、これまで同様、利用者が食材を各自持ち込み調理する際に、利便性を重視した調理設備の更新等も今後検討してまいります。</p>
1	② 施設周辺	<p>庭園の改修計画の有無が資料から読み取れなかったため触れさせて頂きます。このパブリックコメントを出すにあたり、先日、ホタルの館を見に行きました。正面玄関に隣接する庭園には、5m程の高さの危険な朽ち木や、大きな亀裂が入った円形のコンクリートの木の囲いがありました。その他にも庭園全体が老朽化しており、建物同様、庭園の改修も必要です。庭園を含めた改修計画を宜しくお願い致します。</p>	<p>今回は「ホタルの館」をユネスコエコパークの拠点施設としてリニューアルする計画を示したところですが、施設周辺の樹木につきましては、建設当初の植栽木が生い茂り施設外観にも支障をきたしているところでもあります。</p> <p>同様のご意見は、検討委員会においてもご提案があり、今後、施設のリニューアルに合わせて伐採等を行い、施設本体が周囲から目を引くような景観整備に努めてまいります。</p> <p>なお、玄関前の大クスにつきましては、老朽化により一部が落下し危険なため、今年度中に解体撤去し、将来的には遊びやレジャーが楽しめる広場としての活用を検討してまいります。</p>
	③ 運用方法	<p>北川に来て、最初に感動したのは山や川、ホタルなどの自然でしたが、その自然を包み込むようにして夜空に広がる星の輝きにはさらに圧倒されました。星の一つ一つが強く瞬く光景は、都会では絶対に目にすることができません。満天の星空を快適に楽しめる設備(天体望遠鏡の設置、天体観測スペースの確保等)を整え、「ホタルの光と星の光、光溢れる町、北川」として今後アピールすれば、興味を持ってくれる人は増えるはずで。ご検討の程、宜しくお願い致します。</p>	<p>施設整備後は、スタッフが常駐しアウトドア体験や学習交流の拠点施設としての機能を存分に活用できる施設となる予定です。</p> <p>そこで、施設利用に関しては、自然生態系観察やホタル観賞会をはじめ、愛好家による星の観望会など趣味を活かしたイベント等にも幅広くご利用いただけるものと考えております。</p> <p>いただいたご意見は改修後の対応になる面もありますので、できるだけ反映するよう、今後検討してまいります。</p>

北川地域ユネスコエコパーク拠点施設整備事業 ホタルの館改修(案)に関する意見及び本市の考え方

	分類	意見の概要	本市の考え方
	① アクセス	<p>対象施設は国道からよく見え、存在自体の認知度は高いと考えられるが、直接アクセスすることができず、しかも特に看板もないため何の施設か分からない。</p> <p>視認性の良さを活かし、施設名の看板を設置する。また、アクセスしやすいよう案内看板を要所に設置する。</p>	<p>「ホタルの館」は、北川地域ユネスコエコパークの北川水系観光周遊ルートの拠点施設として、誰もがいつでも気軽に利用できる観光施設として、今回リニューアルします。</p> <p>目的地までのアクセスは当然案内が必要となりますので、整備に合わせて主要な場所への案内看板設置を検討してまいります。</p>
2	② 周辺環境	<p>国道からの視認性の良さは、夜間のライトアップなど有効と考える。(ただし、ホタルは光に弱いのでシーズンは消灯するなどの管理は必要)</p> <p>既存の外構はポテンシャルが高く、少しの改善で良くなる。</p> <p>そこにライトアップを流すことで、ホタルのオフシーズンでも高い集客力を図ることができる。</p> <p>ライトアップをすることにより、いわゆる「映えスポット」を構築し、コンスタントな集客力の確保(＝施設維持力の確保)、防犯、景観に寄与する。</p> <p>また、夜間の散歩コースになることで、市民への還元することができ、かつ観光客と市民の交流の場になる。</p> <p>水車もライトアップしたい。</p>	<p>水車を含め、ライトアップのご意見をいただいた施設は、隣接する「ホタルの宿」になりますが、年間を通じて集客力を増加させるという視点は重要でありますので、今後、指定管理者とも協議しながらライトアップも含めて、様々な集客力向上策を検討してまいります。</p> <p>なお、「ホタルの館」周辺も街灯は設置しておりますが、北川運動公園でのイベント時や夜間利用者の安全を確保するため、必要に応じて照明等の設置を検討してまいります。</p>
	③ 施設管理	<p>平面計画・配置計画、来客が一番目にする部分が洗濯機、ガス給湯器、ガスボンベなど管理部分になってしまっている。現状物置状態でもある。</p> <p>導線上適当とは思われないので、看板、生垣、壁などで隠すべきである。</p> <p>なにかアイキャッチになるものがあるとより望ましい。</p>	<p>ご意見をいただいたスペースは、ちょうどこの期間に陸上自衛隊が「ホタルの館」に長期滞在しており、洗濯機などを仮置きしておりました。</p> <p>平時は、物置として利用しておりませんが、今後、指定管理者との協議を踏まえて、必要な場合は間仕切り等の設置を検討してまいります。</p>